

日本気象学会関西支部 第28期第6回常任理事会概要

出席者：瀬上、塩谷、大澤、松本、中山（常任理事）西、諸岡、高橋（幹事）、里田（全国理事）

日時：2009年5月22日（金） 15時00分～16時40分

場所：大阪合同庁舎第4号館 大阪管区气象台16階

議 事

1 2009年度関西支部理事会および総会の資料（案）の検討

本年6月27日（土）に「エル大阪」（大阪府立労働センター）南102号室で開催する両会議の資料について検討した。次の項目を確認した。

- ・ 支部奨励金は、最近の実績がないので、本部奨励金と統合することとし、支部奨励金に関わる規定を削除することを両会議で提案する。
- ・ 過去文献のアーカイブ（電子化）は文書の保存の観点から進めている。まずは新しいものから実施し、昭和52年以前のは保留とする。将来的に関西支部のホームページで公開することも考慮して、ホームページの容量を増やした場合の費用を調査する。なお、文献の著作権の取り扱いについては、両会議に諮る。
- ・ 本部会計への会計統合について、両会議で会員に説明する。

2 第31回夏季大学の進捗状況の確認

夏季大担当理事から本年8月29日（土）に開催する夏季大学（於：キャンパスプラザ京都）の詳細が決まったことが報告された。各講義の時間を1時間45分とし、受講料を2000円にすることが了承された。6月号の「天気」への掲載に向け、原稿の準備を行う。

1 「積乱雲の発達と集団化のメカニズム」

竹見 哲也氏（京都大学防災研究所 気象・水象災害研究部門准教授）

2 「梅雨前線帯と集中豪雨」

加藤 輝之氏（気象研究所予報研究部 主任研究官）

3 「集中豪雨時の天気図実習」

中山 繁樹氏（大阪管区气象台 技術部次長）他

3 2010年度秋季大会の準備について

2010年10月27日（水）～29日（金）に「京都テルサ」で開催。今年度、何を実施する必要があるかを事務局でリストアップする（まずは、シンポジウムのテーマの絞込みや会場の正式予約）。総会後に、実行委員会の立ち上げに向けた検討を行う。

4 予稿集・要旨集原稿の提出方法の拡張

印刷原稿だけでなくPDF原稿も受け付けるように、原稿作成要領を変更して、支部ニュースでお知らせすることが了承された。

5 本部理事会の開催

5月28日（木）につくば国際会議場で開催される日本気象学会第35期第6回理事会へは、里田本部理事は書面参加の予定。

(1)本部奨励賞

関西支部が候補者として推薦した京都堀川高校の飯澤教諭が、理事会に最終候補者として推薦されている。

(2)2010年度秋季大会

本部に対して交付金の増額を引き続き求めていく。